

RYOBI®

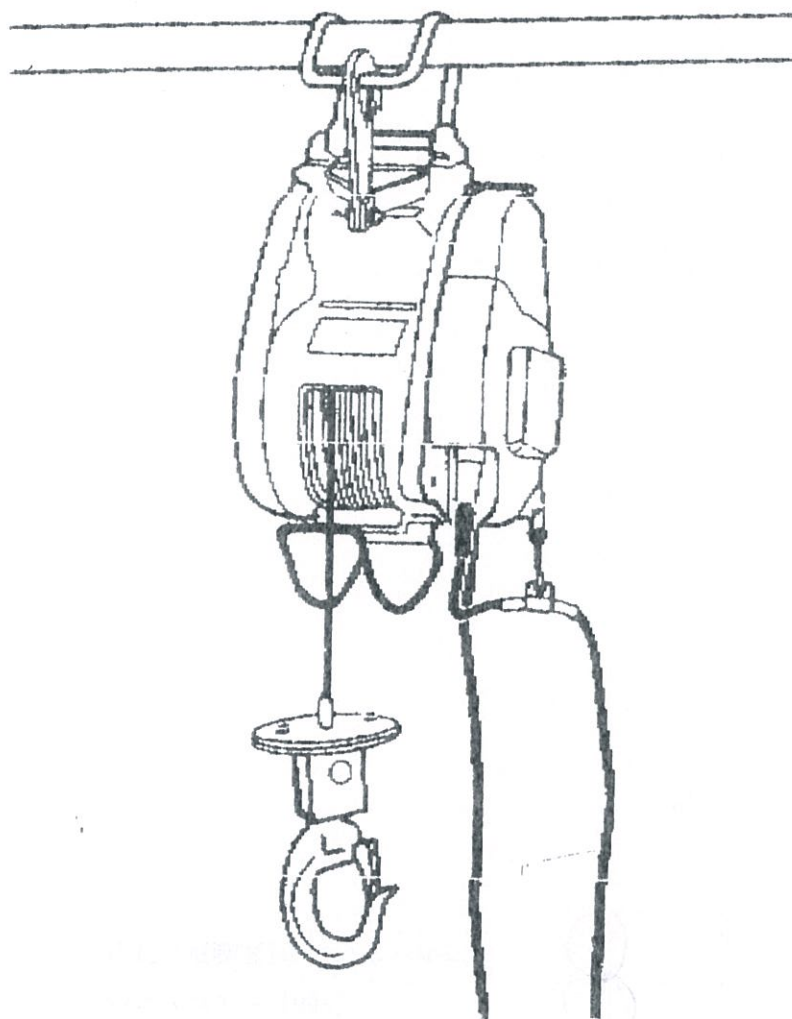
ウインチ

WIM-125A

取扱説明書

EA840B-130

ご使用前に必ずこの説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1～4
- ・各部の名称・仕様・付属品・用途 ... 4
- ・別販売品 5
- ・操作方法 5～8
- ・保守と点検 9～10

このたびは、リョービウインチをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」、「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は、「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防塵マスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
12. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
13. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
14. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
15. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
16. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合は、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
17. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常機を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
18. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
 - ・スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

✓ 19. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

20. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

ウインチご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、ウインチをご使用の際には、さらにつきに述べる注意事項を守ってください。

△ 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. ワイヤロープは指定の種類、太さ、長さの物を使用してください。
(ワイヤロープの交換 8ページ参照)
 - ・正規のワイヤロープを使用しないと事故の原因になります。
3. 最大吊揚荷重と本体重量に耐えられるしっかりした場所に、水平、確実に設置してください。
 - ・設置が不十分ですと荷物や本体の落下などによる事故の原因になります。
4. 最大吊揚荷重 130kgを超える荷重による作業はしないでください。
 - ・荷物の落下などによる事故の原因になります。
5. 荷物は確実に固定し、昇降作業は荷物が垂直に動くようにしてください。
 - ・不安定な荷物の取付けや、斜めに昇降させると荷崩れなどの事故の原因になります。
6. ワイヤロープが乱巻きの状態でご使用になりますと、機械の動作不良、故障だけでなく、ワイヤロープの早期損傷、切断による事故の原因になります。ワイヤロープが正常に巻かれていることを確かめてからご使用ください。
7. 運転中、コードがドラムに巻込まれないようにしてください。
 - ・感電の恐れがあります。
8. 運転中ワイヤロープ、ドラムなどの可動部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
9. 作業中、吊揚げた荷物の下に人や物を近づけないでください。
 - ・万一の荷物落下による事故の原因になります。
10. 使用中機械の調子が悪かったり、異常音が出た時は、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げ販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けが、事故の原因になります。
11. ウインチ本体、ワイヤロープに異常がないか使用前、および定期的に点検、確認してください。(乱巻き防止について 4ページ、保守と点検 9ページ参照)
 - ・事故の原因になります。
12. 機械の楊程以内でご使用ください。またドラムには必ずワイヤロープを1m以上残してください。

- ・ワイヤーロープを出しすぎますと、ドラムから外れ、けが、事故の原因になります。
- 13. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
- ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
- 14. 事業主の方へ
- ・ウインチを単体として使用するのではなく、別に滑車等を用いて荷物の昇降を行なう場合は、「巻上機の運転の業務に係る特別教育」が必要です。
(労働安全衛生規則第36条 第11号)

●乱巻き防止について

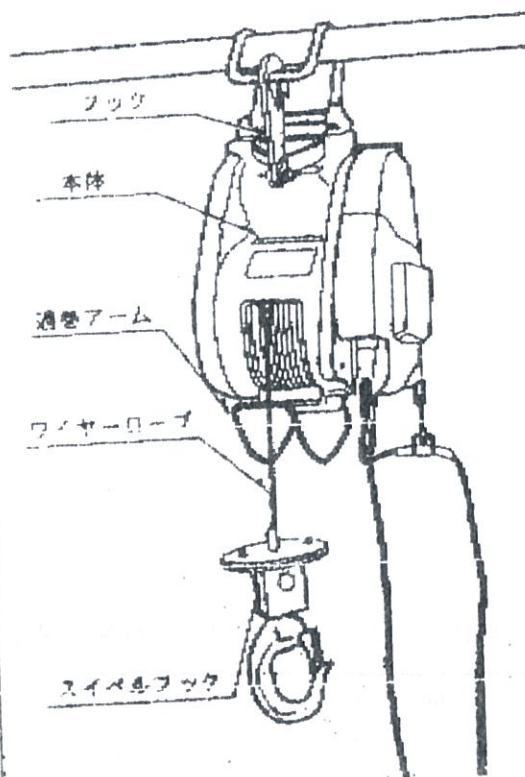


・ワイヤーロープが乱巻きの状態で使用になりますと、機械の動作不良、故障だけでなく、ワイヤーロープの早期損傷、切断による事故の原因になります。ワイヤーロープが正常に巻かれていることを確かめてからご使用ください。

●乱巻き防止には次のことを注意してください。

- 1) ワイヤーロープは常に張った状態で使用してください。
 - ・ワイヤーロープを出し過ぎた場合や、巻直し、交換の際には、ワイヤーロープがゆるまないように、負荷をかけた状態で巻取ってください。
- 2) 荷物の昇降は垂直に行なってください。
 - ・ウインチの設置場所が傾いていたり、横方向に引っ張りながら巻揚げますと、ワイヤーロープがドラムの片側により、乱巻きの原因になります。水平な場所に設置し、荷物は垂直に昇降させてください。
- 3) 損傷のないワイヤーロープを使用してください。
 - ・ワイヤーロープにキック箇所や、損傷、サビがあると、巻取りが不規則になり、乱巻き、切断の原因になります。直ちに新しいワイヤーロープと交換してください。(ワイヤーロープの交換 8 ページ参照)

■各部の名称



■仕様

- 電流.....単相、交流 100V 50/60Hz
- 定格電流.....10A
- 消費電力.....870W
- 最大吊揚荷重.....130kg
- 吊揚速度、無負荷時...35m/分
130kg吊揚時...25m/分
- 揚程 21m仕様.....20m
31m仕様.....30m
- 操作コード長さ.....20m
- 本体寸法.....(タテ×ヨコ×高さ)
258×182×277mm
- 本体重量.....11kg

■通常付属品

- 操作スイッチ(コード20m付)
- ワイヤーロープ 21m仕様...5mm×21m
(本体付) 31m仕様...4mm×31m

■用途

- 商品、資材の積降し、荷上げ、各種吊揚作業

■別販売品

- 中継コード10m
(オス、メスメタルコンセント付)
- 専用アーム
- ワイヤーロープ 5mm×21m
- ワイヤーロープ 4mm×31m
- スィベルフック組立(大)

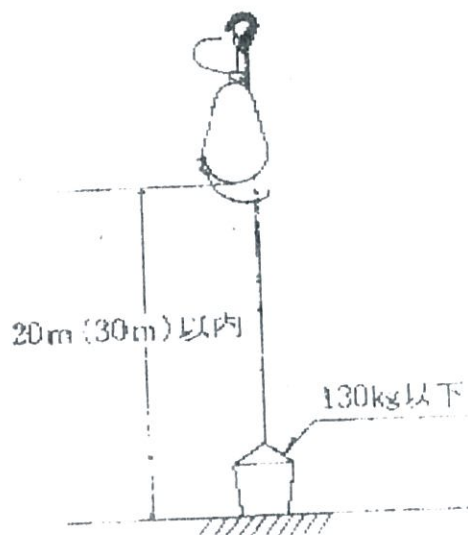
■操作方法

●揚程と最大吊揚荷重



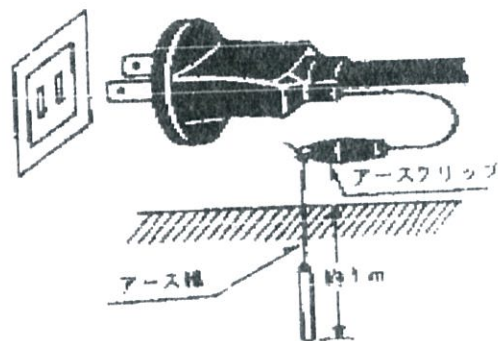
最大吊揚荷重 130kgを超える荷重による作業はしないでください。荷物の落下などによる事故の原因になります。

- ワイヤーロープはドラムに21m(31m)巻付けてありますが、揚程20m(30m)以内とし、ドラムへ1m以上ワイヤーロープを残してご使用ください。
- 本機の最大吊揚荷重は、130kgです、130kgを超える吊揚げは絶対にしないでください。



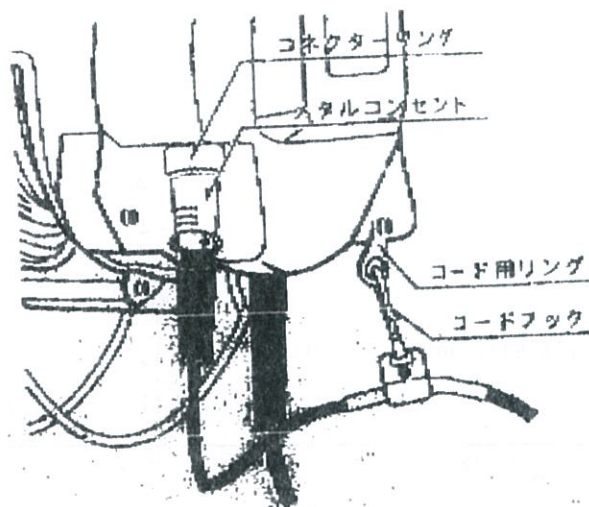
●アースについて

- 感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地(アース)してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと機体の金属部(外部)間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。



●操作スイッチの接続

- 本体側面のメタルコンセント凹部と、操作スイッチコード端のメタルコンセント凸部を合わせて押込み、コネクターリングを右に最後まで回してしっかり固定します。
 - 操作スイッチのコードフックは巻込み防止及びスイッチコード保護の為、必ず本体のコード用リングに取付けて使用してください。
- (注) スイッチコードがドラムに巻込まれないよう注意してください。

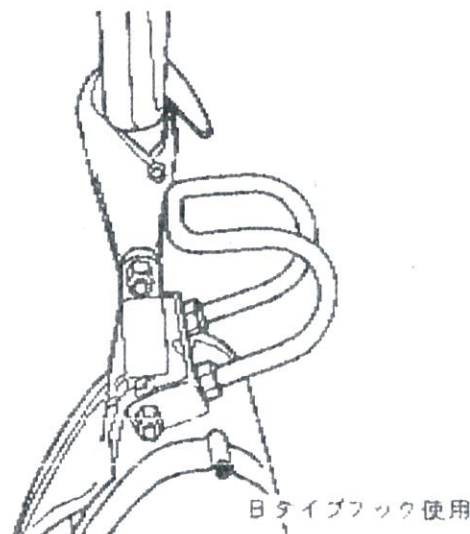
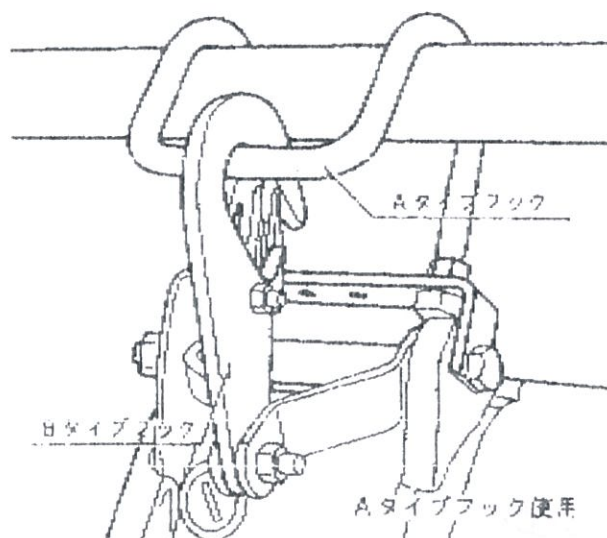


●据付方法

⚠ 警告

・最大吊揚荷重と本体重量に耐えられるしっかりした場所に水平、確実に設置してください。設置が不十分ですと荷物や本体の落下などによる事故の原因になります。

- 本機の吊下げは、水平でしっかりした場所（吊揚荷重＋本体重量に十分耐えられること。）に据付けてください。本体が傾いたり、落下の恐れのある場所は絶対に避けてください。
- Aタイプフックで本機を据付する場合は落下防止の為、Bタイプのフックで外れ止めをしてください。

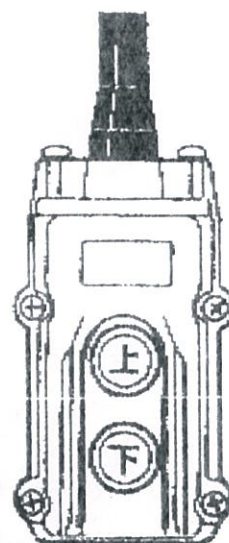


●スイッチの操作方法

⚠ 警告

・使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- スイッチ操作は、スイッチボタンの“上”を押し続ければ上昇、“下”を押し続ければ下降します。スイッチボタンを離すとブレーキがかかり吊荷は停止します。
- 停電時には、メカニカルブレーキが働き、吊荷が停止する安全構造になっております。



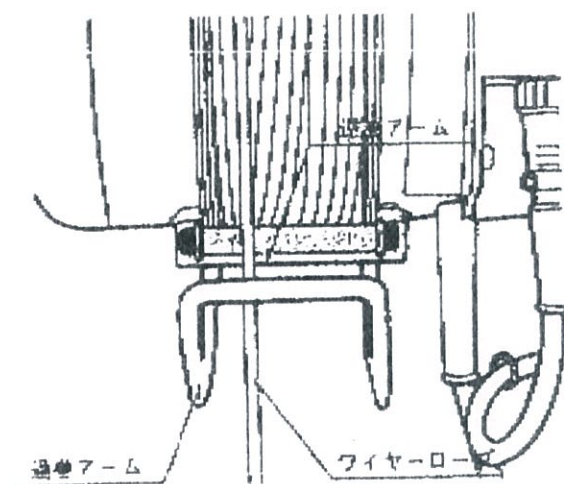
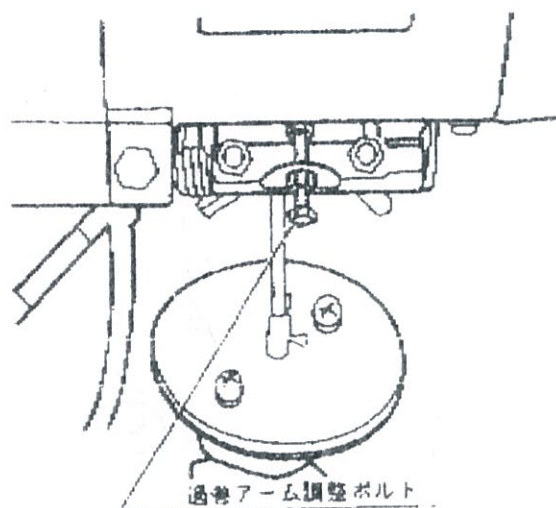
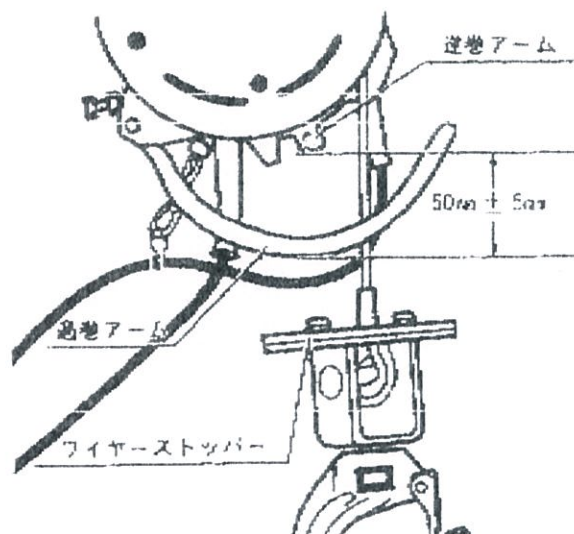
●過巻防止機構と逆巻防止機構

- 安全と機械保護のため、ワイヤーロープの巻き過ぎを防止する過巻防止機構と、逆向きでの巻取りを防止する逆巻防止機構を備えております。

- 過巻防止機構はワイヤーストッパーが過巻アームに触れ、リミットスイッチが入ることにより電気ブレーキがかかり、巻揚げを停止する構造になっております。

- 逆巻アームと過巻アームのすきまが50mm程度になるように、過巻アーム取付部の調整用ボルトで調整してください。

- ワイヤーロープの出し過ぎや乱巻きにより、ワイヤーロープが逆巻きになった場合、逆巻アームにワイヤーロープが触れモーターが停止し、逆巻きを防止する安全構造になっております。この場合ワイヤーロープを正しく巻直してください。



●メカニカルクラッチについて

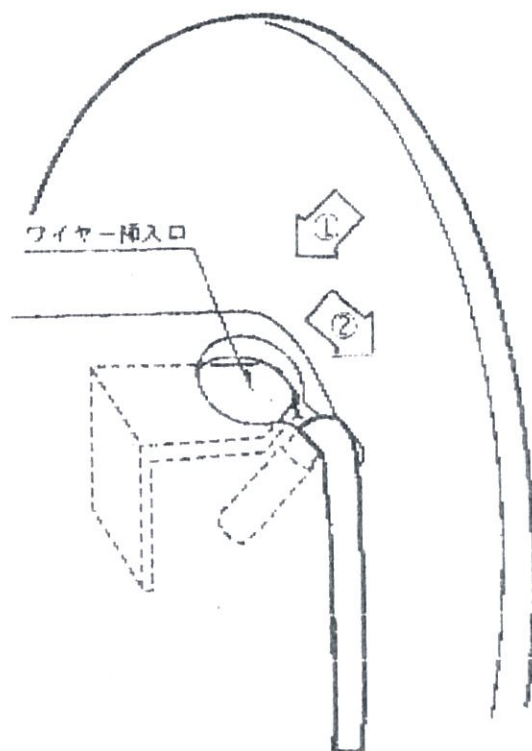
- 本機には非常時のモーター保護の為にメカニカルクラッチを採用しています。急激な負荷や極度の過負荷時にはメカニカルクラッチによりモーターが空転します。
- このメカニカルクラッチは非常用に組込まれた機構です。荷重が定格内かどうかを検知するものではありません。本機の最大吊橋荷重は130kgですので130kgを超える吊揚げは絶対にしないでください。

●ワイヤーロープの交換

△ 警告

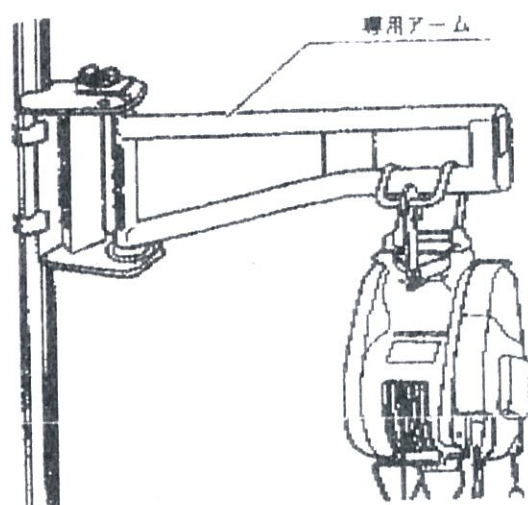
- ・ワイヤーロープは指定の種類、太さ、長さの物を使用してください。正規のワイヤーロープを使用しないと事故の原因になります。

- ワイヤーロープは指定のものを使用してください。
- ・使用ワイヤーロープは、JIS 6×19 O/O A種Zより
21m仕様…ワイヤーロープ 5mm×21m
31m仕様…ワイヤーロープ 4mm×31mを使用してください。
- ワイヤーロープの取付はワイヤー挿入口よりワイヤーロープ端末をさし込み→方向に誘導した後、ロープ端末止メに確実にセットされたのを確認後ドラム右側端面より巻上げてください。
(注) ワイヤーロープを取付ける際は必ずワイヤーロープを張った状態にして巻揚げ方向に回転させるだけ固く巻取ってください。ワイヤーロープ取替えの際、ドラムに手を巻込まれないように注意してください。



●ウインチ専用アーム(別販売品)

- 垂直な支柱にウインチ専用アームを取付けることにより、支柱より50cm程出した状態でウインチを使用することができる。ウインチ専用アームを用意しております。
- ・支柱取付可能径……………40～50mm
(注) ガス管32A (φ42.7, T=3.5)
または40A (φ48.6, T=3.5)
以上の強度を有するパイプをご使用ください。
- ・専用アーム寸法……………長さ 656mm
高さ 220mm



●中継コード10m(別販売品)について

- ウインチの操作場所が本体より遠い場合には、別販売品の中継コード(10m)をご使用ください。

■保守と点検

⚠ 警告

- ・ウインチ本体の各部や、ワイヤーロープに異常がありますと、吊荷落下などの事故の原因になります。ウインチご使用前、ご使用後、および定期的に各部を点検してください。

●ワイヤーロープの点検

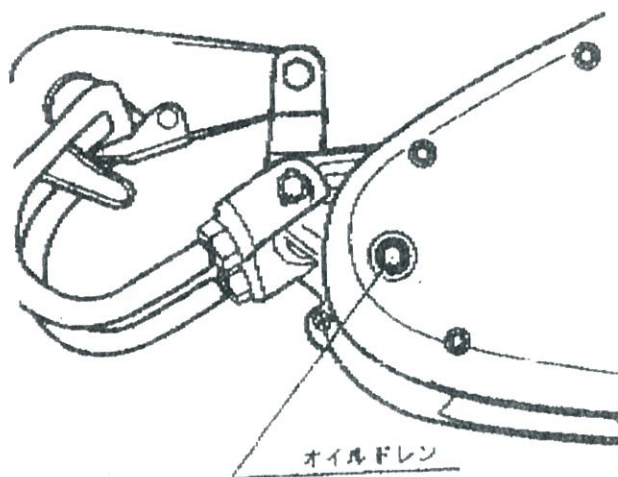
- ・ワイヤーロープに付着したゴミ、土などをブラシで取除き、サビ止めのため、ワイヤーロープに油、グリスなどを塗布してください。
- ・ワイヤーロープがドラムにきれいに巻かれているか点検してください。乱巻き、逆巻きを起こしていたり、巻込みがゆるい、喰込んでいるなどの場合には、必ずワイヤーロープをきれいに巻直してください。
- ・点検の際、ワイヤーロープに次のような状態を見つけた場合、直ちに新しいワイヤーロープと交換してください。
 - 1) ワイヤーロープの索線が切れている。
 - 2) ワイヤーロープの直径が細くなっている箇所がある。
 - 3) ワイヤーロープの形が著しくくずれている箇所がある。
 - 4) ワイヤーロープにキング、サビ、腐食などした箇所がある。
 - 5) ワイヤーロープの心網がはみ出している箇所がある。
 - 6) 端末の止め部分の金具などに異常がある。

●安全装置の点検

- ・逆巻きアーム、過巻アームが変形したり、正常に作動しない場合や、ブレーキ、スイッチなどが正常に作動しない場合には直ちに使用を中止し、お買上げ販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。

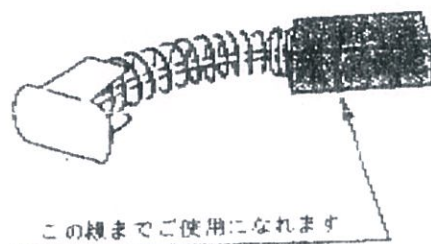
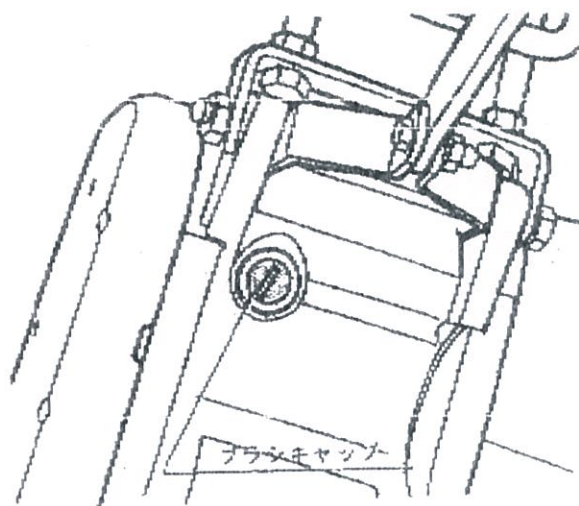
●ギヤーオイル

- ・オイル交換は、機械の寿命をのばす為に、カーボンブラシ取替時を目安に行なってください。交換方法はオールドレンをM10用六角棒レンチで取外し、古くなったオイルを全部抜き取った後、指定オイル（日本石油ハイディーゼル S-3 10W）を250cc注入してください。



●カーボンブラシについて

- カーボンブラシを作業前に時々外して点検してください。カーボンブラシは全長の $\frac{1}{2}$ 以下即ちカーボンブラシの横の線まで短くなりましたら新しいカーボンブラシと交換してください。短いカーボンブラシをそのまま使っておりますとモーター焼損の原因になることがありますのでご注意ください。
- カーボンブラシの交換はブラシキャップを①ドライバで外すと簡単に行なえます。
- カーボンブラシは2個1セットです。交換されるときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。



●各部取付けネジの点検

- ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なく！お問い合わせください。